

地区名	台東区
研究主題	「自然に親しみ、科学的に問題を解決できる子供の育成」 ～子供の素朴概念を生かし、主体的・対話的な問題解決の活動を通して～
<p>【研究の内容】</p> <p>(1) 児童の素朴概念を生かした授業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「素朴概念」とは日常生活や既習事項から児童がもっている、まだ精緻化されていない概念のことである。授業前に児童がどのような素朴概念をもっているか、実態調査を行った。児童の発想を生かし、解決の見通しをもって問題を設定することに重点を置いた。 <p>(2) 新学習指導要領における「見方・考え方」と学習内容の関連についての考察</p> <ul style="list-style-type: none"> ・領域ごとにどのような見方・考え方をはたらかせ、事物・現象を捉えていくのか、指導案の段階から吟味し、実際の授業でどのような手立てを講じるのか、協議を重ねた。 <p>(3) ICTの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理科の授業において、結果の確認や全体での共有、学習履歴の保存など、児童の協働的な学びに寄与するICT機器の活用例について、情報交換を行った。 <p>【研究授業】 研究授業（年3回）</p> <p>講師：麻布台学校教育研究所 木下 邦太郎 先生</p> <p>① 6月 4年「とじこめた空気や水」 平成小学校 菊池 進士 先生 ② 10月 4年「ものの温度と体積」 富士小学校 東谷 波子 先生 ③ 12月 5年「ものの溶け方」 千束小学校 古川 純平 先生</p> <p>【研修・その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・麻布台学校教育研究所における教育懇話会の情報提供 ・研究授業における実験、関連事項の実技研修 ・新学習指導要領の読み合わせ、従来との変更点について確認 ・台東区内の児童がもつ素朴概念の実態調査・集計 	